

(1) 平成27年度事業及び平成26年度実績 (保健予防課感染症係関係分)

1. 新型インフルエンザ等対策事業 2,806千円 (H26 4,100千円)

H25.4.13 に施行された新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、体制等整備

- ① 保健所管内医療従事者等への研修会実施 H26実績 4回
- ② 保健所管内関係者連絡協議会 H26実績 3回
- ③ 対策訓練実施 H27は中和保健所主体で実施予定 H26奈良市主体で実施
- ④ 市町村行動計画策定支援 策定済 21市町村 (H27.7.27現在)

2. 感染症予防対策事業 20,976千円 (H26 18,651千円)

感染症法に基づき、主に次の事業を実施

- ① 予防のための調査(発生動向一県医師会へ委託、疫学調査等)
- ② 性感染症検査(各保健所で梅毒検査実施) H26実績 295件
- ③ 感染症公費負担事業(1類・2類感染症患者の入院医療費公費負担) H26実績 0件
- ④ 医療施設運営費補助事業(第一種・第二種) 奈医大附病院、済生会中和病院
- ⑤ 感染症予防事業費県費負担事業(消毒及びそ属昆虫の駆除等) H26実績 0件

3. 結核予防事業 12,719千円 (H26 12,741千円)

感染症の主要疾病である結核の発病予防・早期対策のため、主に次の事業を実施

- ① I G R A検査等の実施(各保健所で実施) H26実績 329件
- ② 胸部X線検査等(各保健所が医療機関に委託して実施) H26実績 720件
- ③ 結核対策推進協議会の開催等 (H27.1.28開催)

4. 結核予防対策事業 2,542千円 (H26 2,542千円)

・ 感染症診査協議会(郡山、中和(吉野・内吉野含む)保健所で主として結核診査)開催

5. 結核対策特別促進事業 6,692千円 (H26 4,232千円)

3と同様、結核対策のために、主に次の事業を実施

- ① 保健師の能力向上(研修への参加、研修会の開催)
- ② 県民への普及啓発(啓発教材等の作成、配布)
- ③ D O T S(直接服薬確認療法)の推進(カンファレンス、服薬指導の委託)
- 新④ 医師等相談・地域連携強化事業(奈良医療センター専門医が相談指導対応)
- 新⑤ 結核予防技術者地区別講習会

・ 近畿地区の結核予防技術者講習会を奈良県が担当し、開催。(府県持ち回り)
 日時:平成27年7月16日(木)17日(金)10:00~17:00
 場所:奈良県文化会館2階小ホール、集会室AB、1階第1会議室
 参加者:2府4県・政令市4・中核市10他 医師、保健師、診療放射線技師等
 参加人数:7月16日 192名、7月17日 178名 計370名

6. 結核医療費公費負担事業 37,532千円 (H26 43,444千円)

医療費の公費負担等

7. 定期結核健康診断補助事業 1,690千円 (H26 1,653千円)

感染症法第60条に基づき、学校及び各種施設に対し、定期健康診断実施について補助
 H26実績 11施設

8. 肝炎対策事業 215,869千円 (H26 112,630千円)

ウイルス性肝炎対策として、主に次の事業を実施

- ① 肝炎対策推進協議会の運営 H26実績 3回開催

- ② 肝炎診療従事者研修の実施 H26実績 1回開催
 - ③ 肝炎検査事業（各保健所、医療機関委託で実施） H26実績 B型341件、C型342件
 - ④ 医療費の公費負担
 - ⑤ 肝疾患相談センターの運営 H26実績 相談88件
- 新③ ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業

新9. 肝炎医療費システム整備事業 1,815千円

肝炎医療費システムの使用及び保守

10. エイズ対策関連事業

1) エイズ普及啓発活動事業 347千円 (H26 376千円)

世界エイズデー等における啓発リーフレットの作成、配布を実施

国が実施する研修への派遣 H26実績 2回

2) エイズ検査相談・対策促進事業 2,008千円 (H26 2,023千円)

① エイズカウンセラー（嘱託）による相談窓口の運営 H26実績 相談件数102件

② エイズ検査・相談事業の実施（各保健所で実施）H26実績 検査791件、相談306件

3) エイズ対策推進事業 38千円 (H26 44千円)

エイズ専門部会の運営 H26実績 1回

11. 風しん予防対策事業 2,151千円 (H26 8,829千円)

効果的なワクチン接種が行われるよう、妊娠を希望する女性とその配偶者を対象に、県が委託する医療機関で風しん抗体価検査を実施 H26実績 305件

12. 予防接種事業 24,855千円 (H26 21,092千円)

① 予防接種後健康状況調査 10種のワクチン 9医療機関に委託

② 予防接種事故対策補助金 H26実績 10市町村

13. SARS等感染症対策事業 206千円 (H26 208千円)

・SARS等感染症患者搬送車の維持、整備

14. ハンセン病対策事業 3,535千円 (H26 3,734千円)

「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」（平成21年施行）に基づき、ハンセン病患者であった方々の福祉増進のため、主に次の事業を実施

① 療養所入所者里帰り事業

・国内5園に入所されているハンセン病患者の郷里里帰り（2泊3日）

② ハンセン病患者訪問事業

・県及び県議会が療養所を訪問し交流

③ 患者家族生活援護事業

・県内在住患者家族（1世帯）に対し、生活保護法に準じた援護費を支給

④ ハンセン病対策普及啓発事業

・偏見差別の解消に向けた啓発パンフレットの作成及び配布（中学校等）

⑤ 県庁職員対象人権研修のテーマに採択

15. 麻しん対策推進事業（予算なし）

① 保健研究センターにおける麻しんウイルス検査

② 予防接種（第1期、第2期）勧奨（県ホームページに掲載）

16. 啓発活動

① 県ホームページ、県民だより（奈良養生訓等）、奈良新聞、電光掲示板等を活用した啓発（記事別添）

② 奈良新聞に記事連載『声なき感染症を知る』

執筆：県保健研究センター北堀統括主任研究員（記事別添）

③ 感染症研修会（保健所主催 対象：市町村、医療機関、施設、教育機関、保育所等の職員）

(2) エイズ専門部会からの報告

1, 平成 26 年度エイズ専門部会報告

① 開催日時・場所等

平成 27 年 2 月 3 日 (火) 15:00~16:00 奈良県立医科大学 巖櫃会館

出席委員 13 名

② 概要

1) HIV 感染症診療の現状について

○中核拠点病院 (奈良県立医科大学)、拠点病院 (市立奈良病院) より報告

<主な内容>

- ・患者は増加傾向。
- ・同性間性的接触による感染が多い中、異性間も増加している。
- ・若年者は多い一方、高齢者も一定数診断されており、高齢者はエイズ発症で発見されることが多い。
- ・患者は県内の複数市町村に居住。
- ・治療の進歩で、HIV 感染者の予後は改善。

<課題>

- ・患者の高齢者化により、様々な合併症がみられ、感染症医のみでの治療が難しい。
例：透析、高血圧、糖尿病、認知症、歯周病等

2) 歯科診療ネットワークの構築について

○奈良県歯科医師会と中核拠点病院 (奈良県立医科大学) がネットワークの構築のため、共同で研修会を実施

- ・歯科医師・歯科衛生士感染対策講習会を開催 (平成 26 年 5 月)。
- ・歯科医師・歯科衛生士感染症実習を開催 (平成 26 年 6 月)。
- その結果 4 歯科医療機関がネットワークに参加。
平成 27 年 4 月までに、5 件の患者受け入れ実績があった。

2, 平成 27 年度 奈良県エイズ治療拠点病院及び協力病院報告

① 開催日時・場所等

平成 27 年 6 月 30 日 (火) 14:30~16:00 奈良県立医科大学 臨床大会議室

出席医療機関 14 医療機関 19 名

② 概要

- ・奈良県のエイズ対策について (別添)
- ・HIV 感染症診療の現状について
- ・HIV カウンセリング患者の心理とその支援について
- ・HIV 曝露対策のための抗 HIV 薬の変更について

全国のHIV感染者・AIDS患者数(平成26年)

● HIV感染者

累積報告数 16,903件

新規報告数 1,091件

日本国籍 994件(男性959件、女性35件)

外国国籍 97件(男性82件、女性15件)

● AIDS患者数

累積報告数 7,658件

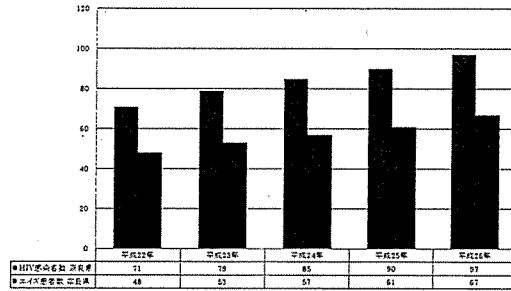
新規報告数 455件

日本国籍 422件(男性409件、女性13件)

外国国籍 33件(男性26件、女性7件)

(厚生労働省エイズ動向委員会より)

奈良県のHIV感染者・AIDS患者数(累積)



奈良県の累積報告数(エイズ動向委員会報告より)

奈良県のHIV感染者・AIDS患者数奈良県の全国順位

順位	自治体	報告数	順位	自治体	報告数
1	東京都	6,295	1	東京都	1,952
2	大阪府	2,112	2	大阪府	686
3	神奈川県	1,154	3	神奈川県	560
22	奈良県	97	21	奈良県	67
47	鳥取県	13	47	鳥取県	7

HIV感染者報告(累積)

AIDS患者報告(累積)

エイズ動向委員会報告 平成26年12月末

過去5年間の奈良県のHIV感染者・AIDS患者のデータ(H22年度～H26年度)

●届出件数

60件 (HIV感染者 35件 AIDS患者 25件)

●H26年度の届出件数

16件 (HIV感染者 9件 AIDS患者 7件)

<参考>

患者を診断した医師は、診断後7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。

(感染症発生動向調査より)

過去5年間の奈良県のHIV感染者・AIDS患者のデータ(H22年度～H26年度)

●男女の割合

男性 58名(平成26年 16名)

女性 2名(平成26年 0名)

●感染原因

感染原因	報告数	平成26年
性的接触	49(13)	2
母子感染	0	0
静注薬物	2※	2
その他	9(3)	9
合計	60(16)	2

※性的接触と重複、()は平成26年

過去5年間の奈良県のHIV感染者・AIDS患者のデータ(H22年度～H26年度)

●年齢、感染地別

	国内	外国	不明	合計
20歳代	13(2)	0	2	15
30歳代	15(8)	0	2(1)	17
40歳代	9(2)	2	1	12
50歳以上	13(2)	1	2(1)	16
合計	50(14)	3	7(2)	60(16)

奈良県の取り組みについて

● HIV検査の実施

保健所名	検査日
郡山保健所	火曜日(9時～11時)
中和保健所	金曜日、第1・3水曜日(9時～11時)
吉野保健所	第2・4月曜日(9時～11時)
内吉野保健所	第1・3月曜日(9時～11時)
奈良市保健所	第1・2・3月曜日(13:30～15時)

奈良県の取り組みについて

● エイズ相談の実施

- ①各保健所(電話・来所)
奈良県保健予防課(電話)
平日9:00～16:00(祝日は除く)
- ②エイズカウンセラーの派遣
奈良県立医科大学(火・木曜日)
市立奈良病院(第4木曜日)

奈良県の取り組みについて

● 検査数及び相談数の推移


	検査数	相談数
平成22年	1023	296
平成23年	1084	251
平成24年	1068	191
平成25年	1172	255
平成26年	1114	414

奈良県の取り組みについて

● 啓発

- ①デジタルサイネージでの啓発
- ②新聞広告への掲載
- ③高校へのエイズ予防課外授業の実施
- ④全県庁職員対象の人権研修のテーマに採択

6月1日～6月7日
「HIV(エイズ)検査普及週間」
みんなで受けよう! HIV検査!
HIV検査は、県内の保健所で、
無料・匿名で受けることができます。
また、「HIV検査普及週間」では、
平日夜間と土日祝検査を実施します。
*詳しくは、県ホームページで!



奈良県の取り組みについて

- ⑤エイズ検査普及週間(6月1日～6月7日)での啓発
夜間と休日検査の実施(各保健所)
ポスター配布
- ⑥世界エイズデー(12月1日)
街頭啓発
(パンフレットやティッシュを配布(各保健所))
夜間と休日検査の実施(各保健所)
ポスター配布



後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針

<医療の提供>

- ①一般の医療機関においても診療機能に応じた医療が受けられる。
- ②中核拠点病院は研修や医療情報の提供。
- ③歯科診療所との連絡体制の構築。
- ④患者の長期療養と在宅療養を支援する体制整備。
- ⑤各種拠点病院と慢性期病院との連携体制の構築
- ⑥医療機関や地域のNGO等と連携した生活相談支援のプログラムを推進

